

働き方改革アクションプラン

会社名	三菱電機 株式会社	従業員数	①5,000 人以上
------------	-----------	-------------	------------

①長時間労働の是正（K P I）

管理者含めた全社員において「時間外労働 720時間／年超者」を2019年度にゼロにする。

①長時間労働の是正（行動計画）

三菱電機は、2016年4月から「働き方改革」を経営施策として掲げ、「成果・効率をより重視する企業風土への変革」と「仕事に対する意識の改革」を通じて、誰もが仕事と生活を両立できる職場環境づくりに取り組んでいる。この活動を、以下の行動指針のもと、2019年度以降も継続して長時間労働の削減を図っていく。

- (1) 経営トップ層からのメッセージ発信による啓発・風土醸成継続
- (2) 業務プロセスに内在する「ムダ」の徹底排除を通じた生産性向上
- (3) ITを活用した業務効率化推進
- (4) 生産性・効率性重視の評価運営の実行
- (5) 時間外抑制施策の継続
- (6) 労働時間の厳格把握を踏まえた業務効率化・負荷分散の推進

働き方改革アクションプラン

会社名	三菱電機 株式会社	従業員数	①5,000 人以上
------------	-----------	-------------	------------

②年休の取得促進（KPI）

2019年度に、社員個人が2018年度実績以上の年休（2018年度比プラス1日以上⇒全社平均17日以上）を取得する。

②年休の取得促進（行動計画）

- (1) 年度首に3日の計画休暇を設定し確実な取得を奨励。
…当社は主として誕生日や記念日等に休暇を取得する「マイカレンダー休暇（年3日）」というルールを運用しており、その確実な取得を奨励する。
- (2) 週末（土日）と連続した休暇取得の奨励
- (3) 管理職による率先した年休取得

働き方改革アクションプラン

会社名	三菱電機 株式会社	従業員数	①5,000 人以上
------------	-----------	-------------	------------

③柔軟な働き方の促進（KPI）

継続的に実施している当社「働き方改革意識調査」での、「仕事と生活とのバランス」に対する2019年度評価を2018年度比改善させる。

* 2018年度調査において「仕事と生活とのバランス」が十分とれている・比較的取れていると回答した社員は全体の73.7%

③柔軟な働き方の促進（行動計画）

- ①在宅勤務制度・モバイル端末等の利用方法や事例を社内にPRし、ワークライフバランス・効率的な業務遂行に活用するよう啓発活動を継続する。
- ②併せて、労働時間削減・休暇取得促進活動を継続。